

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	丘のりんご		
○保護者評価実施期間	7年3月1日 ～ 7年3月15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20 (回答者数)	15
○従業者評価実施期間	7年2月7日 ～ 7年2月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容が、多様である。室内活動のほか、屋外での体を動かす活動、文化芸術に触れたり体験できる活動を提供できること。	年齢的にも、体を動かして活動したい児童が多い為、室内活動に限らず、施設外での活動にも積極的に取り組んでいる。専門講師による工作やリトミック、英会話体験など多くのメニューを提供している。	事業所の室内空間が狭い為、障害特性によっては、パーソナルスペースの確保ができていない状況がある。事業所の施設改修などの必要性を感じているが、直ぐには難しい為、数年単位での課題として、何らかの改善策を検討していきたいと考えている。
2	地域住民や自治会、商栄会との交流が可能であること。	地域で管理する公園の清掃活動に参加させて頂いている。また、大宮神社秋季祭典へのお神輿参加や、商栄会との連携事業として、ハロウィンパレードの企画など実施し、地域との交流を深めている。事業所職員のための支援ではなく、地域住民の方々との関りの中で成長できる環境が整っている。	地域の環境美化活動として、歩道等のゴミ拾い活動や、花壇やボランティアなどで地域の歩道前などの環境整備にも取り組みを発展させていきたい。
3	様々な社会体験が実践できること。	徒歩による街歩き、公共交通（JRやバス）を利用した移動手段の体験を通じて、一般的な交通ルールや公共交通の利用方法などを事業所活動として体験できる。簡単な買い物体験（コンビニ・スーパーなど）も土曜・祝日中心に可能。	年間の実施回数をもう少し増やすことで、実社会で生活していくために必要なスキルが向上する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育への課題	集団的療育活動は充実しているが、個別療育に重点を置くべきケースに関して、職員1名を専門に配置することが難しく、どうしても、集団活動の中での個別支援にとどまってしまう傾向にある。	・職員の専門性を高める為の更なる専門研修への参加。 ・個別支援が可能となる人員配置。
2	室内空間の狭さ	しっかりとしたパーソナルスペースの確保が必要な児童に対して、十分な空間が確保できないこと。	間仕切りや小さな部屋への異動等で工夫しているが、根本的な解決には至らない。物理的な室内空間をもう少し広く確保するために、施設改修が必要であると考え。数年単位での検討課題としたい。
3			